

英語科学習指導案

I 単元 Boom in Japan～日本の流行を紹介しよう～

II 考察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

①知識及び技能

できることやしたこと、様子について伝え合う際に用いる英語の音声や文字、英語表現、文構造、言語の働きについての知識

夢中になっている物や人について紹介をする基礎的な技能

②思考力、判断力、表現力

台湾の小学生に夢中になっている物や人について紹介をする際に、相手の反応に応じて英語表現の選択・組合せをし、英語を用いてできることやしたこと、様子を伝え合う力

③学びに向かう力、人間性等

自ら進んで英語を用いて相手の反応を確かめながら、できることやしたこと、様子を伝え合おうとする態度

(2) 単元の価値

本単元は、夢中になっている物や人について"I like～ing～."、"I/He/She/They can～", "I bought /ate～.", "He/She/They got/won～.", "It/He/She was～."等の英語表現を用いて、できることやしたこと、様子を台湾の小学生に紹介をし、英語表現を書き写して日本の流行magazineをプレゼントする学習である。その価値は以下のとおりである。

本単元では、"I like～."や"I like～ing～."を用いて表現することを通して動名詞の文構造や言語の働きについての理解を深めることができる。また、助動詞"can"や動詞の過去形は既習の英語表現であるため、状況に応じて自由に英語表現の選択・組合せをして表現することに適している。さらに、日本の流行magazineを作り、プレゼントすることは、目的をもって夢中になっている物や人について紹介をする英語表現を書き写し、英語の文字や英語表現についての理解を深めることができる。

夢中になっている物や人について台湾の小学生に紹介をすることは、相手が全く知らない物や人について紹介をすることになり、詳細に分かりやすく紹介をするために、できることやしたこと、様子等について英語表現の選択・組合せをする必要感を高めることができる。さらに、自らの表現を相手に伝わりやすいものにしようと英語表現の選択・組合せをし、相手の反応を確かめながら伝えたり聞いたりすることにつながる。

この学習において扱う夢中になっている物や人は、子どもたちが表現したいことを自由に選択ができるため、紹介をしようとする気持ちをもてる。また、台湾の小学生に紹介をすることは、母語である日本語や北京語が伝わらないため共通に学習をしている英語で伝え合う必要感を高め、夢中になっている物や人について詳細に分かりやすく紹介をしようとするすることができる。

(3) 今後の学習

ここでの学習は、6年「The Greatest Memory in Elementary School～小学校の思い出を伝え合おう～」において、「My best memory is ～」、「I went to～.」、「I enjoyed～ing～.」や「It was ～.」等の英語表現を用いて、小学校の思い出を表現する学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、6年「Welcome to Wonderful Japan!～日本文化の紹介をしよう～」において、「This is ～.」「We can ～.」、「I like/recommend～.」等の英語表現を用いて、留学生や前橋市在住の外国籍の方に日本文化の紹介をし、英語表現を書き写して日本文化ガイドブックをプレゼントする学習をしてきた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

① 日本文化の紹介をする英語表現を理解してきた。このような子どもたちが、できることやしたこと、様子について伝え合う英語表現を理解できるように、単元末の活動において用いることのできる「I can～.」「I played/watched～.」等の既習の英語表現を基に伝え合う帯活動を設定する。

日本文化を表す英語表現を英語の音声で発音したり書き写したりしてきた。このような子どもたちが、夢中になっている物や人を表す英語表現を英語の音声で発音したり書き写したりできるように、繰り返し英語の音声を発音するクレイジーマンキーゲームやジェスチャーゲームを行う機会を設定したり、英語表現の見本や四線入りの学習プリントを用意したりする。

② 「This is ～.」「We can ～.」、「I like/recommend～.」等の英語表現の選択・組合せをし、日本文化の紹介をできるようになってきている。このような子どもたちが、「I like～ing～.」「I/He/She/They can～」、「I bought/ate～.」、「He/She/They got/won～.」、「It/He/She was～.」等の英語表現の選択・組合せをし、夢中になっている物や人の紹介をできるように、構成や内容の異なる複数のモデルを提示したり、詳細に知りたいことについての質問やCan do-Listを基に他者評価をし合う機会を設定したりする。

③ 相手の反応を確かめながら、自ら進んで英語を用いて日本文化の紹介をしようとしてきている。このような子どもたちが、相手の反応を確かめながら、自ら進んで英語を用いて夢中になっている物や人の紹介をしようとすることができるように、台湾の小学生が夢中になっている物について伝え、コミュニケーションを図る目的や場面、状況を明確にした課題を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習（7／8時間目）

- ねらい Can-do Listを基に他者評価をし、夢中になっている物や人について相手を替えて繰り返し紹介をすることを通して、相手の反応に応じて英語表現や伝え方の選択・組合せをし、改善して伝えることができる。
- 準備 Can do-List Question List
- 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。 ・今までに「I can～.」や「I watched～.	○前時までに学習した英語表現を想起できるように、夢中になっている物や人を紹介する際に用いる、で

等を使って夢中になっている物を紹介してきたな。

- ・次の授業で台湾の小学生に分かりやすく紹介するために、今日は紹介をする内容を増やしたり伝え方をうまくしたりするのだな。

きることやしたこと等の英語表現を問いかける。

- 英語表現や伝え方の選択・組合せをし、改善して伝えるという本時の見通しをもてるように、ALTがJTEの質問を基に英語表現の選択・組合せを改善するモデルを演示し、改善前と比較し、詳細になった内容を問いかける。

めあて「台湾の小学生に分かりやすく紹介するために、内容と伝え方をよりよくしよう」

「見方・考え方」を働かせて協働的に学ぶ子どもの姿

相手の反応に応じて、自らの夢中になっている物や人について紹介をする英語表現や伝え方の選択・組合せをし、改善して伝えている

2 夢中になっている物や人について紹介をする。

- ・今、夢中になっているラグビー観戦について伝えるぞ。
- ・"Who do you like?"と質問されたよ。"I like Kotaro Matsushima."と答えよう。
- ・内容も伝え方も"Good!"と言われたよ。アイコンタクトをもっと意識して聞いてくれる人に気持ちよく伝えられるようになりたいな。
- ・"Why?"となぜ松島選手が好きなのか聞かれたよ。"He is fast and cool."と答えよう。
- ・友達が"OK!"と言ってくれたよ。次は、好きな理由も増やして紹介を試みよう。
- ・だんだん友達の様子を見て紹介ができるようになってきたよ。
- ・内容も伝え方も"Excellent!"と言われたよ。好きな選手や好きな理由も紹介できるようになったし、アイコンタクトもできるようになったよ。

- 夢中になっている物や人について紹介をする自らの表現のよさや改善点に気付けるように、グループ内で詳細に知りたいことについての質問やCan-do Listを基に他者評価をし合う機会を設定し、必要に応じてQuestion Listを参考にするよう促す。

- 英語表現の選択・組合せや伝え方を改善する手がかりを得られるように、学級全体で紹介をする人を教室の両端に固定し、聞く人が自由に動いて夢中になっている物や人について紹介をする場を設定し、相手の反応やCan-do Listを確認するよう促す。

- 夢中になっている物や人を詳細に伝えることや伝え方を改善するよさを感じられるように、内容や伝え方が分かりやすい子どものモデルを基に、内容や伝え方のよかった点とその理由を問いかける。

- 夢中になっている物や人について紹介をする自らの表現に自信をもてるように、再度同じグループ内で詳細に知りたいことについての質問やCan-do Listを基に他者評価をし合うよう促す。

評価項目

夢中になっている物や人について英語表現や伝え方の選択・組合せを改善して伝えている。

<行動②>

3 本時のまとめをする。

- ・好きな選手やその理由もアイコンタクトを意識して紹介ができるようになったよ。台湾の小学生にも分かりやすく紹介をできるようにしたいな。

- 友達やALTと関わったことについての達成感や次時への意欲をもてるように、「できるようになったこと」「意識したコミュニケーションポイント」「次回がんばりたいこと」を観点として、Tryシートに成果を記述するよう促す。

指導と評価の計画（全8時間）

目標	夢中になっている物や人について台湾の小学生に紹介をすることを通して、できることやしたこと、様子について英語を用いて表現できる。			
評価 規準	(①知識及び技能)できることやしたこと、様子について表現する英語表現を理解している。 夢中になっている物や人を表す英語表現を英語の音声で発音したり書き写したりしている。 (②思考力、判断力、表現力等)できることやしたこと、様子についての英語表現の選択・組合せをし、夢中になっている物や人について詳細に紹介している。 (③主体的に学習に取り組む態度)相手の反応を確かめながら、自ら進んで夢中になっている物や人について英語を用いて分かりやすく紹介しようとしている。			
言語 材料	Look at this picture. I like~. I like~ing~. Do you know~? He/She/They can /play /do/swim fast/sing well/dance well/make~well/act well/tell a joke well. I can enjoy~/enjoy it with/watch it on~/buy it at~/make~/relax.He/She/They got/won/advanced to/made/sang/appeared on~.I bought/ate/drank/made/enjoyed~.			
見方・ 考え方	台湾の小学生に日本の流行を詳細に分かりやすく紹介できるように、相手の反応に応じて、情報を整理しながら夢中になっている物や人についての考えや気持ちを形成し、再構築すること			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
つか む	1	○ALTが夢中になっている物や人について紹介をするモデルを見聞きし、紹介の内容について話し合い、試しの活動をして課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">課題 ゲームやYou Tubeなどが好きな台湾の小学生に日本の流行をくわしく紹介できるようになる</div>	○台湾の小学生に日本の流行を詳細に紹介するという見通しをもてるように、本単元の目標をループリックにしたCan do-Listや台湾の小学生が夢中になっている物や人を提示する。	◇モデルを見聞きし、分かったことについて発言したり記述したりしている。 <発言・Try シート①>
	追究 する	1 1 1 1 1	○夢中になっている物を表す英語表現を用いたクレイジーマンキーゲームをし、"I like~ing~."を用いて夢中になっている物について質問・返答をする。 ○"I/He/She can~."を用いて、夢中になっている物でできることや夢中になっている人ができること、様子について紹介をする。 ○動詞の過去形の英語表現を用いたジェスチャーゲームをし、動詞の過去形を用いて、夢中になっている物でしたことや夢中になっている人がしたことについて紹介をする。 ○夢中になっている物や人を調べ、台湾の小学生に紹介する内容を話し合う。 ○夢中になっている物や人とその理由について質問・返答をし、英語表現を書き写して日本の流行magazineを作る。	○夢中になっている物を表す英語表現を繰り返し発音できるように、ゲームで用いる夢中になっている物を表す英語表現の書かれたシートとさいころを用意する。 ○夢中になっている物でできることや夢中になっている人ができること、様子についての英語表現や伝え方の選択・組合せができるように、グループ内で質問・返答をしたりCan-do Listを基に他者評価し合う機会を設定する。 ○動詞の過去形の英語表現を繰り返し発音できるように、ゲームで用いる動詞の過去形の英語表現が書かれたカードを用意する。 ○夢中になっている物や人について紹介したいことをもてるように、グループ内で「台湾の小学生が詳しく知りたいこと」を視点として話し合う時間を設定する。 ○夢中になっている物や人を表す英語表現と意味を照らし合わせられるように、英語表現の見本と四線入りの学習プリントを用意する。
まと める	1	○ALTや友達に夢中になっている物や人について詳細に分かりやすく紹介をする。(本時)	○夢中になっている物や人についての英語表現や伝え方の選択・組合せができるように、グループ内で質問・返答をしたりCan-do Listを基に他者評価し合う機会を設定する。	◇夢中になっている物や人について英語表現や伝え方の選択・組合せを改善して伝える。 <行動②>
	1	○台湾の小学生に夢中になっている物や人について詳細に分かりやすく紹介をし、日本の流行magazineをプレゼントする。	○台湾の小学生に夢中になっている物や人について詳細に紹介できた楽しさを実感できるように、台湾の小学生からグループの紹介ごとに感想を聞く機会を設定する。	◇目線を合わせながら、聞き取りやすい声の大きさや速さで詳細に日本の流行を紹介している。 <発言・Tryシート③>